

今年は10日間のゴールデンウィークとなり、その大型連休中に平成から令和の時代に変わりました。そして、その一ヶ月後の6月には、「野洲川放水路通水40周年」という地域限定のアニバーサリーを迎えます。

40年という時間の経過とともに、野洲川が水害を引き起こすあばれ川であったことを知るリアル世代が少なくなってきました。多くの人が近江富士・三上山を右に巻いて、たおやかに流れ下る野洲川をわが郷土の光景として眺めることは安心安全のまちづくりにとって素晴らしいことだと思いますが、40周年という節目の年に野洲川の生い立ちとその歴史を知っておくこともまた、意義あることではないでしょうか。

それでは、遺跡の発掘調査の成果やトピックスをお伝えします。

## 発掘調査だより

### 下之郷遺跡116次調査

下之郷一丁目の(株)三光(工場)北東側の農地で、4月17日から確認調査に着手しました。この場所は、下之郷遺跡のこれまでの発掘調査で見つかっている環濠の外縁部にあたります。

現在、遺構確認を進めていますので、次号でその成果をお伝えいたします。なお、今回の調査は、地下遺構の種類や規模、検出位置等を把握し、遺跡保護を目的としているため、遺構掘削は一部のみとなります。(川畑)



▲下之郷遺跡第116次調査位置図

### 欲賀西遺跡9次調査

森川原町の欲賀西遺跡の調査では、中世の屋敷地に関わる遺構が見つかりました。昨年度実施した岩崎神社に隣接する宅地造成部に伴う第4次、5次調査(乙貞第217、219号掲載)や、屋敷地の西限を示す内容の調査成果のあった第6次調査(同220号掲載)では、鎌倉時代から室町時代にかけての井戸や溝跡が見つかり、当時の屋敷地の存在が明らかとなっています。

今回の調査地では、ほぼ現在の土地割りに沿う方向へ延びる幅0.5m前後、深さ約80cmで断面が逆三角形をなす溝跡が見つかりました。この溝からは瀬戸灰釉端反皿が出土し、これまでの上記の調査成果とあわせ、室町時代の屋敷地に伴う区画溝と考えられます。見つかった場所から、仮にこの溝を屋敷地の東端の区画溝とすると、集



▲欲賀西遺跡第9次調査検出遺構写真

落の西限と考えられる前年度実施の6次調査の成果を踏まえ、東西約 200m におよぶ規模の集落であったと推測できます。今後、造成地内の宅地開発における調査において、南北の集落規模や屋敷地内の具体的構成内容がより明らかとなることが期待されます。(大)

### 吉身海道遺跡 第4次・5次調査

立入町字仁名寺において、岡・立入線の道路建設に伴う調査を5月7日から21日にかけて行いました。

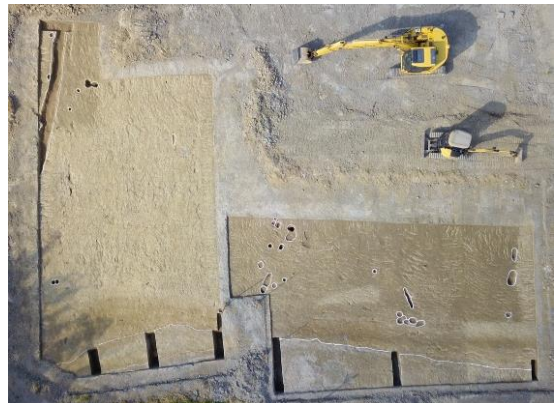
調査面積は道路予定地のうち約300㎡で、耕作土直下から溝、ピット、土坑を検出しました。北西方向に流れる溝1～3の土層の堆積状況を把握するために断ち割りを行なった結果、土師器片や黒色土器片、信楽焼の陶器片などを検出しました。室町時代頃のものと考えられます。

3条の溝の土層は、現在流れている川の方角に向かって堆積していたことから、当時流れていた川が付け替えられたか、もしくは氾濫した結果であると考えられます。

また調査区北東から南西方向に流れる溝4からは鎌倉時代中期頃の黒色土器壺が完形で出土しました。この溝からは黒色土器が多く出土しており、中世の遺構であることが推測されます。

今回の調査で、古墳時代後期～鎌倉時代を盛期とする吉身海道遺跡の東辺にあたる調査区には、中心部の濃密な集落遺構が広がりを見せないことがわかりました。(堀田)

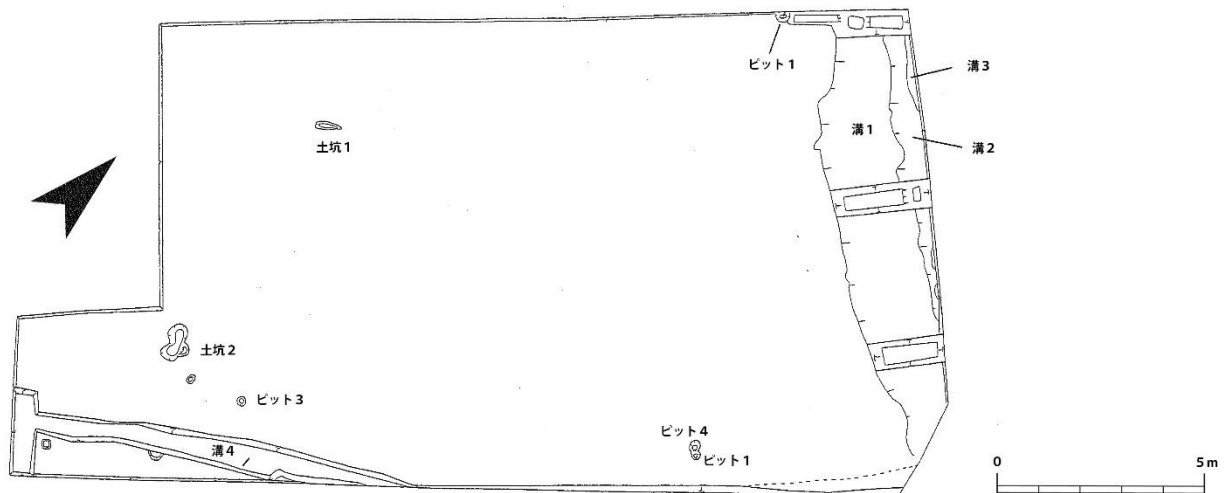
4次調査地に隣接して、区画整理事業に伴う調査を5次調査として5月4日より開始しました。約900㎡を対象とし、7月末までの予定です。詳しくは次号で報告致します。(畑本)



▲調査区全景写真(北北西から)  
左調査地：4次調査 右：5次調査

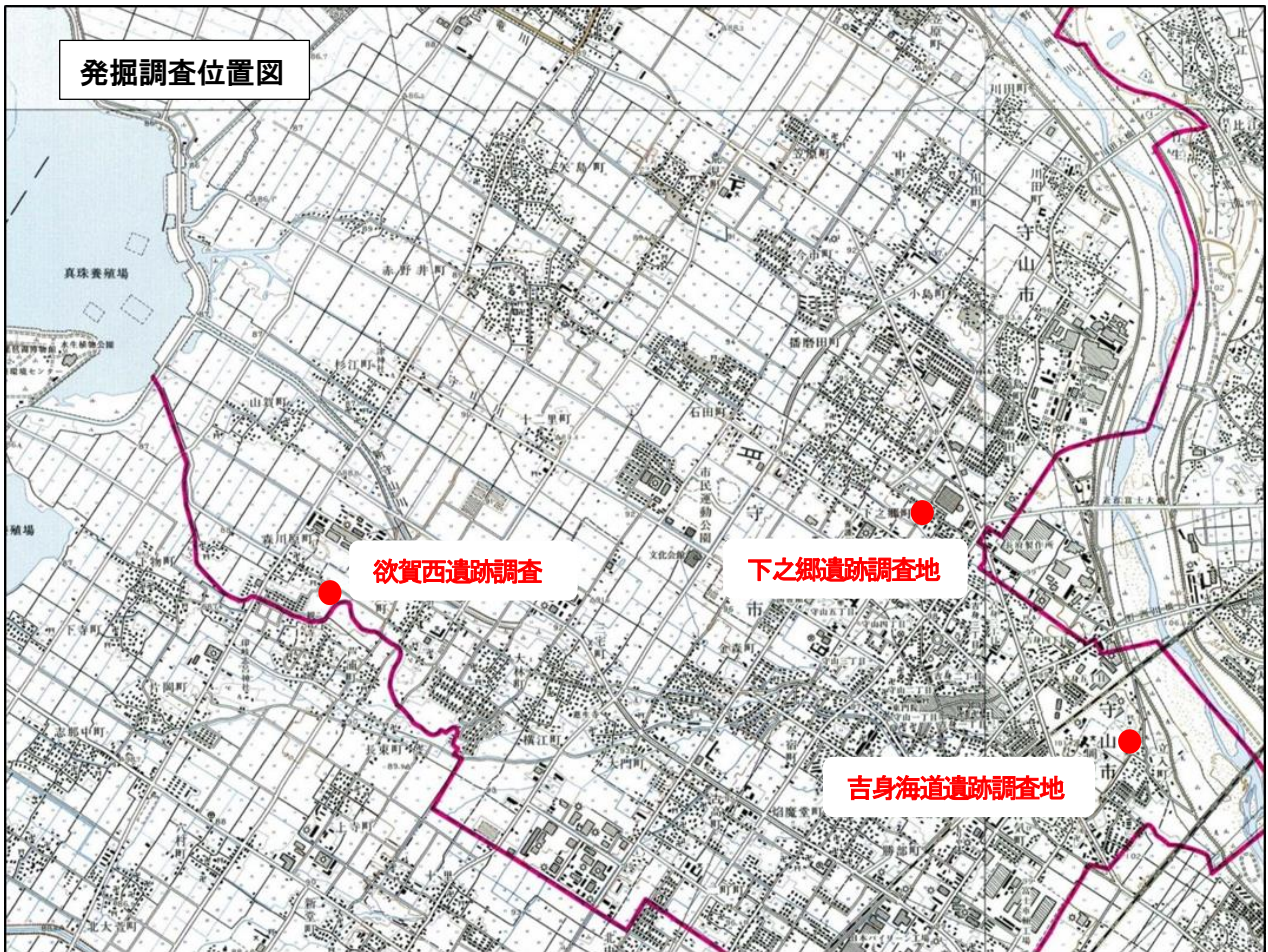


▲吉身海道遺跡第4次調査溝4出土黒色土器壺



▲第4次検出遺構平面図

## 発掘調査位置図



## トピックス

**6月1日(土)**より 野洲川放水路通水40周年記念企画として、  
「**野洲川流域の歴史と文化のひとこま -服部遺跡の調査-**」を開催しています！

かつての野洲川はたびたび災害を引き起こす暴れ川でもありました。昭和28(1953)年の水害が契機となり、改修工事が行なわれました。

今年は、昭和54(1979)年6月に新野洲川が通水してから40周年の節目を迎えます。このことを記念し、守山市ほたるの森資料館や野洲市歴史民俗博物館、栗東歴史民俗博物館と連携し、それぞれが通水40周年記念企画展を開催することになりました。

当センターでは、野洲川の歴史と、改修工事中に発見、調査された服部遺跡を知っていただくことを目的に「野洲川流域の歴史と文化のひとこま -服部遺跡の調査-」をテーマに企画展を開催しています。ぜひ、ご来館ください。

【開催期間】令和元年6月1日(土)から7月28日(日)まで  
【展示場所】埋蔵文化財センター2階の展示ケース他



## 令和元年度 歴史入門講座「やきものの魅力」受講者を募集しています！

5月15日号の「広報もりやま」でもお知らせしました歴史入門講座の受講者を募集しています。ぜひ受講してください！

日程/令和元年6月から12月（11月を除く）までの第3土曜日の午前10時から12時まで全6講  
第1講 6月15日(土) / 第2講 7月20日(土) / 第3講 8月17日(土) / 第4講 9月21日(土) / 第5講 10月19日(土) / 最終講12月21日(土)

◆開催場所 市立埋蔵文化財センター2階会議室

◆受講料 1,200円（全6講・1講のみ受講の場合は200円/講）

◆申込み受付 令和元年5月15日（水）から

◆申込み先 守山市立埋蔵文化財センター 電話・FAX 077-585-4397

### 春季講演会 開催しました！

5月18日(土) 午後2時から、「発掘調査、洛中洛外-秀吉が築き、家康が再興した伏見城の調査-」をテーマに春季講演会を開催しました。

講師はまさに洛中洛外の調査で活躍中の辻広志さんで、自ら担当された調査の中から、洛中の「本能寺城跡の調査」、そしてテーマにもなっている洛外の「伏見城跡の調査」でわかった新事実について分かりやすく講演していただきました。



▲講演会風景

## 埋蔵文化財センター友の会 令和の活動を始めました！

5月17日(金)に令和元年度の埋蔵文化財センター友の会総会と第1回見学会を開催しました。今年は、まず、総会を近江八幡市立図書館会議室で開催、午後からは第1回見学会として、八幡堀界隈を散策しました。街中にある資料館やヴォーリス建築など、思い思いの見学を楽しみました。

なお、今年度事業と予算案について審議するなかで出た意見は活動に反映させていきたいと思っております。

興味のある方の入会をお待ちしています！

### 令和元年度第1回見学会の様子



■総会風景（近江八幡市立図書館）



▲昼食風景（喜兵衛さん）



▲八幡堀周辺の散策



▲郷土資料館・旧西川家住宅の見学

【後記】この後記欄は5月26日に執筆しています。ふさわしくない内容かもしれませんが、夏でも涼しいイメージのある北海道佐呂間町で39℃というかつてない最高気温を観測し、毎年喧伝される「異常気象」、「地球温暖化」のはしりの事例となるでしょう。大きく遡って縄文時代後期から晩期に向かう時代には、地球の寒冷化が起きました。縄文人たちも、これまでとは違うただならぬ変化を感じていたに違いありません。この寒冷化現象は地球も生きている証しなのですが、昨今の異常気象は地球上に住む一人ひとりの思いやりで少しはくい止められるのではと思ったりもします。（馬耳東風）